

第3節 歴史的文化的環境の形成

第1 歴史的文化的遺産を活かしたまちづくり

①歴史的町並み等の保全

■歴史的建造物群の保存

富田林市において、富田林寺内町（伝統的建造物群）が早期に国の重要伝統的建造物群として選定が受けられるように、寺内町内に計画された都市計画道路の改廃等について、府市の担当部局で調整・協議を行うとともに、寺内町の修理・修景事業に助成した。

■歴史的町並みに調和した民間住宅への誘導

伝統的建造物群保存修理事業では、伝統的建造物の復元的修理とともに、伝統的建造物以外の構造物の修景事業も含んでおり、歴史的町並みに調和した民間住宅への改修費に助成した。

②史跡・名勝等の文化財の保全

■史跡・名勝等の指定による文化財の保全

「文化財保護法」による国指定文化財として新たに3件の指定等（重要無形文化財の保持者認定1件を含む）があり、「大阪府文化財保護条例」による府指定文化財として新たに7件を指定した。

また、国宝・重要文化財・史跡名勝天然記念物等の国及び府指定の文化財について、保存修理や防災施設の整備等に対し所有者への助成を行った（2-52表）。

2-52表 指定文化財等保存事業助成件数
(平成7年度)

区 分	件 数
国指定有形文化財保存修理	7
国指定有形文化財防災施設	4
国指定史跡名勝天然記念物	4
府指定文化財保存修理等	5
計	20

■史跡等、公有化整備事業への助成

史跡池上曾根遺跡における大規模遺跡総合整備事業（古代ロマン再生事業）をはじめ、地域の歴史的文化的環境の核として重要な史跡等について、市町村の行う土地公有化事業や、環境整備事業について指導し、助成を行った（2-53表）。

2-53表 史跡公有化・環境整備事業助成件数
(平成7年度)

区 分	件 数
土地公有化事業	16
環境整備事業	2
計	18

■文化財等の調査

有形・無形を問わず、地域の多様な文化財を対象として、大阪市域で文化財総合調査を実施した。

■埋蔵文化財の保全及び調査

埋蔵文化財包蔵地における開発工事について、事前に事業者と文化財保存について協議し、貴重な文化財が不用意に失われることのないように指導を行った。なお、平成7年度の開発工事に伴う発掘届出件数は11,440件であった。また、開発工事に先立ち、破壊の恐れのある埋蔵文化財の発掘調査及び遺跡範囲確認調査等を実施した。

③歴史的町並みを活かした施設づくり

■歴史街道の整備

平成7年3月に策定した「なにわ歴史街道事業化推進指針」に基づき、事業の目的である「歴史文化あふれる都市・大阪づくり」の実現を目指し、関係各事業課において、事業を推進した。

■歴史のみち・歴史をめぐる遊歩道整備事業の推進

旧街道沿いに今も残る歴史的町並みを、次代に受け継ぎ、魅力ある道路空間を演出するために、道路空間を利用し、道路面の美装化、デザイン照明・シンボルパネル・案内板・一里塚・道標等の設置を行うなど、町並みに調和した修景整備を行った。

■ウォーキング・トレイル事業の推進

自然や歴史、文化を感じさせる地域の拠点を連絡する歩行者専用道路等の整備を行った。また、快適な歩行が楽しめる案内標識、休憩施設等の整備を行った。

■案内標識の整備

交差点付近における「予告、案内、確認」の標識設置を行った。

■歴史の息づく水辺空間の整備

石川の河川環境整備事業「石川あすかプラン」の中で、自然ゾーンの護岸整備等を行い、また飛鳥川について「ふるさとの川整備事業」を実施した。

第2 開かれた歴史的文化的環境づくり

①博物館等の整備・運営

■府立博物館の運営

歴史・文化に関する情報を提供し、豊かな文化的環境を有する街づくりに資するため常設展、特展、企画展を開催するとともに、弥生文化博物館においては、考古学セミナー、体験して学ぶ考古学講座、やよいミュージアムコンサート、土器づくり教室等を、近つ飛鳥博物館においては、歴史セミナー、カルチャー of アスカディア、古墳の森コンサート、夏休み子供博物館探検ツアー、一須賀古墳群講座等を実施した。

■狭山池ダム資料館（仮称）の建設

千数百年に及ぶ人と水との係わり、利水・治水・築堤技術の変遷を明らかにするとともに、今回の“平成の大改修”の内容と意義を伝える狭山池ダム資料館（仮称）を建設するため、実施設計を行った。

②学習・情報提供の推進

■歴史情報の提供

広く地域住民や事業者に埋蔵文化財、指定文化財の位置を周知してもらい、その保全を図るため文化財分布図を改訂した。また、府下における発掘調査の成果を広く公開するために、総持寺遺跡等計5か所において発掘調査現地説明会を開催した。

■講座、イベント等の開催

博物館の特展等のテーマに関連したセミナー、講演会、シンポジウム及び土器作りなどの各種イベントを開催した。また、財団法人大阪府文化財調査研究センターが開催したシンポジウム「考古学から災害と復興を考える」の後援を行った。

■文化財指導員による指導

府下の文化財の保存管理に関して随時巡視を行い、文化財等の所有者その他関係者に対し、指導助言を行うとともに、文化財保護思想についての普及啓発活動を行った。